

ABIC 国際社会貢献センター

Information Letter

No. 70 2024年7月

第71回理事会、第72回理事会および第24回通常総会、第73回理事会を開催

新会長に安永竜夫 日本貿易会会長（三井物産会長）が就任	2
安永竜夫 会長就任あいさつ	2
2023年度事業報告	2
2024年度事業計画	5
2023年度決算および2024年度予算	5
役員等	6

外国企業支援

FOODEX JAPAN 2024（第49回国際食品・飲料展）

スリランカ企業出展社での活動	7
----------------	---

自治体・中小企業支援

中小企業の輸出拡大を強力に支援 ―グローバルに打って出る！―	8
--------------------------------	---

留学生支援

留学生支援バザー	9
----------	---

ABIC事務局組織	10
-----------	----

新入正会員のお知らせ	11
------------	----

会員の種類	11
-------	----

法人・個人正会員／賛助会員一覧、活動会員数	11
-----------------------	----

賛助会員入会のお願い	12
------------	----

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)
Action for a Better International Community

www.abic.or.jp

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館20階
Tel : 03-6268-8604 Fax : 03-6268-8652
e-mail : mail@abic.or.jp

（関西デスク）〒541-0053 大阪市中央区本町4-4-24
住友生命本町第2ビル9階
Tel : 06-6226-7955
e-mail : kansai-desk@abic.or.jp

第71回理事会、第72回理事会および第24回通常総会、第73回理事会を開催 新会長に安永竜夫 日本貿易会会長(三井物産会長)が就任

3月26日（火）に第71回理事会が開催され、2024年度事業計画および活動予算、役員の補充選任、正会員の入会について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

また、5月31日（金）に第72回理事会が開催され、2023年度事業報告および収支決算、任期満了に伴う役員の選任、正会員の入会、名誉会長の推薦について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。また、副会長の委嘱、正会員の退会について報告が行われました。続いて第24回通常総会が開催され、第72回理事会の議決および報告事項について報告が行われました。

國分文也前会長（丸紅会長）は名誉会長および個人正会員として引き続きABICの活動をご支援していただくことになりました。副会長には新たに上野真吾 住友商事社長、植村幸祐 双日社長、柿木真澄 丸紅社長にご就任いただくことになりました。

翌6月1日（土）に第73回理事会が書面開催され、安永竜夫 日本貿易会会長（三井物産会長）が新会長に選任されました。



安永竜夫 会長就任あいさつ

國分前会長よりたすきを受け取り、日本貿易会の会長に就任するとともに、ABICの会長に選任いただきました安永です。ABICはさまざまな社会貢献に寄与しており、その活動は、海外を含む多様な経験を積んできた商社をはじめとする企業等のOB・OGの皆さまが培われてきた多種多様な経験、知見、人脈、スキル・ノウハウに支えられています。また、世界や日本の発展に貢献したい、若い世代の成長のために力を尽くしたい、という皆さまの熱い思いこそが、ABICの原動力になっています。

私は日本貿易会の新会長として、「フロンティアスピリットで未来を切りひらけ」をキャッチフレーズとして掲げました。ABICの活動においても、地球温暖化対策や経済の活性化、少子高齢化への対応、ウェルビーイングの向上など、さまざまな社会的課題に取り組み、未来の多様な可能性を開拓していけるよう、ABICの機能・役割をさらに充実させてまいりますので、引き続き、皆さまのご支援・ご協力を賜りたく、何とぞよろしくお願いいたします。



安永会長

2023年度事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況	2023年度活動実績
政府機関関係	ODA関連の人材紹介・推薦、政府機関諸事業（中小企業支援等）の受託および人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2023年度の活動実績（延べ人数）は102人となり、前年度に比べ25人の増加となった。主な活動は以下の通り。 - 経済産業省：「中小企業等アウトリーチ事業」（受託者：船井総合研究所）の安全保障貿易管理アドバイザーとしてABIC会員2人（常勤1人、非常勤1人）が継続採用され活動した。 - 日本貿易振興機構（JETRO）：ABICとして業務委託契約を締結し、「新輸出大国コンソーシアム パートナーによるハンズオン支援業務」3人、「輸出プロモーター業務（農林水産・食品分野）」2人のABIC会員が採用され、中小企業の海外展開支援を行った。 - 中小企業基盤整備機構：令和5年度国際化支援に係る中小企業アドバイザーとしてABIC会員21人が採用（継続10人、新規11人）され活動した。 - 科学技術振興機構：国際青少年サイエンス交流事業に携わる常勤契約職員としてABIC会員1人が採用され2024年度から活動する。	102
NGO／NPO等 非政府機関関係	NGO／NPO、国際機関など非政府機関への人材紹介・推薦、等	2023年度の活動実績（実人数）は3人となり、前年度に比べ3人の増加となった。主な活動は以下の通り。 国際環境NGO バードライフ・インターナショナル東京の東南アジアにおける環境保全プロジェクトのプロジェクトマネジメント人材として2人、チャリティ・イベント支援人材として1人のABIC会員が採用され活動した。	3

活動分野	主要事業	主な活動状況	2023年度活動実績
地方自治体・中小企業支援	地方自治体・関係機関の企業誘致・産品輸出促進・中小企業支援等への人材紹介・推薦、中小企業への直接人材紹介・推薦、各種セミナー等への講師派遣、等	2023年度の活動実績（延べ人数）は356人となり、前年度に比べ152人の減少となった。主な活動は以下の通り。 ●3自治体・関係機関（和歌山県、わかやま産業振興財団、宮崎県）と計5件の業務委託契約を更新し、多数のABIC会員が地場中小企業の販路開拓、輸出・海外進出などを支援した。 ●各自治体の産業振興機関（いばらき中小企業グローバル推進機構、埼玉県産業振興公社、東京都中小企業振興公社、滋賀県産業支援プラザ、東大阪市産業創造勤労者支援機構、わかやま産業振興財団、高知県産業振興センターなど）にて、多数のABIC会員が地場中小企業の販路開拓、輸出・海外進出などを支援した。 ●高知県および愛媛県のプロフェッショナル人材戦略拠点と一層の連携を図り、多数のABIC会員が地場中小企業の販路開拓、輸出・海外進出などを支援した。 ●日本商工会議所の産業・地域共創専門委員会にてABICの中小企業支援事例紹介、ABIC人材マッチング事例の当事者（ABIC会員、支援企業、県）ヒアリングが行われるなど、日商との連携が進展した。	356
外国企業の対日ビジネス支援、研修	外国企業の日本進出・販路開拓支援、外国企業・政府機関への人材紹介・推薦、日本企業の海外赴任者研修等への講師派遣、等	2023年度の活動実績（延べ人数）は50人となり、前年度に比べ53人の減少となった。主な活動は以下の通り。 【外国企業支援】 ●ドイツ系コンサルタント会社のMarketing AdvisorとしてABIC会員2人が活動を継続した。 ●オーストリア大使館（商務部）のAutomotive Key Account ManagerとしてABIC会員1人が採用され活動した。 ●UNIDO東京投資・技術移転促進事務所の「バングラデシュ企業商談会（大阪）」の通訳としてABIC会員3人、「川崎国際環境技術展」招聘専門家（バングラデシュ、ベトナム）の通訳としてABIC会員2人が採用され活動した。 ●FOODEX JAPAN 2024の出展者通訳／来訪者アテンダーとして外国企業11ヵ国11社からABIC会員12人、日本企業1社からABIC会員1人が採用され活動した。 【研修】 ●日本企業5社から計20件（13ヵ国・地域）の海外赴任前研修への講師派遣依頼があり、ABIC会員延べ20人が活動した。 ●日本貿易保険（NEXI）の新入社員研修（貿易取引、国際物流など）の講師としてABIC会員1人が活動を継続した。	50
大学・社会人講座	大学・社会人講座等への講師派遣や講座受託	2023年度の活動実績（延べ人数）は204人となり、前年度に比べ1人の減少となった。主な活動は以下の通り。 ●25大学・大学院（64講座、1,007コマ）、4社会人講座（4講座、201コマ）に延べ204人のABIC講師を派遣した。 ●青山学院大学、聖学院大学、東洋英和女学院大学大学院、法政大学（一部の講座）と業務委託契約を更新し、ABICとして大学側からシラバス、授業内容、講師選定などの承認を得て講座を運営した。 ●ABIC会員向け「大学講師勉強会」を継続開催した。 ●ABIC会員向け「英語で授業をするための講習会」を4年ぶりに開催した。	204
教 育	小中高校国際理解教育	2023年度の活動実績（延べ人数）は375人となり、前年度に比べ165人の増加となった。主な活動は以下の通り。 【日本語学習支援】 ●東京都多摩市および新宿区の小中学校に通う外国籍児童・生徒への日本語学習・生活指導支援を積極的に行った。また、東京都教育支援機構から依頼を受け、都立高校に通う外国籍生徒への支援を開始した。 ●宮城県気仙沼市との包括協定に基づく業務委託契約を更新し、市が運営する外国人技能実習生向け日本語教室にABIC会員の講師4人を派遣した。 ●新たな取り組みとして、パキスタンSuperior Universityより日本での就労を目指す学生向け日本語授業の依頼があり、ABIC会員の講師6人がオンライン授業を開始した。 【国際理解教育】 ●和歌山県教育委員会との連携を継続し、同県の小中高校での国際理解教育の講師として計3人のABIC会員が活動した。 ●関西学院大学との共催により「高校生国際交流の集い2023」を開催した。	375
在日留学生支援・交流	在日留学生・家族への日本語・日本文化学習支援、育児相談通訳支援、バザーへの物品提供協力、等	2023年度の活動実績（延べ人数）は616人となり、前年度に比べ43人の増加となった。主な活動は以下の通り。 ●日本学生支援機構が運営する外国人留学生・家族の居住施設である東京国際交流館および兵庫国際交流会館の日本語広場、日本文化教室へのABIC講師派遣を継続したほか、春・秋のバザーへの物品提供、国際交流フェスティバルでの日本文化教室開催に協力した。 ●東京外国語大学「留学生支援の会」の外国人留学生・研究者等の家族（子弟）への日本語学習支援を継続した。 ●ABIC会員向け「日本語教師養成講座」（6ヵ月120時間コース）を継続し、計11人が修了した。開講以来の修了者は累計275人となった。	616

活動分野		主要事業	主な活動状況	2023年度 活動実績
その他	国際イベント等への協力	各種国際イベントでの通訳・来客アテンド、等	2023年度の活動実績（実人数）は2人となり、前年度に比べ2人の増加となった。主な活動は以下の通り。 2024年5月に開催される「KOBE2024世界パラ陸上競技選手権大会」のボランティア公募を関西在住ABIC会員に周知した結果、2人が応募し採用された。	2
	一般人材紹介、その他	一般人材紹介、各種プロジェクトの受託、等	2023年度の活動実績（延べ人数）は137人となり、前年度に比べ16人の減少となった。主な活動は以下の通り。 - ABICの人材紹介により正規雇用（常勤、非常勤）されたABIC会員10人が就業を継続した。 - 三井物産との在日ブラジル人支援プロジェクト（在日ブラジル人子弟奨学金供与、NPO助成）に関する業務委託契約を更新し、同社OBのABIC会員4人が専任スタッフとして活動した。	137
合 計				1,845

会員状況 (2024年3月末)	法人正会員	17社・1団体（1社増） 新規入会：三洋貿易株式会社
	個人正会員	11人（2人減）
	法人賛助会員	3社・1団体（1団体増） 新規入会：公益社団法人東京のあすを創る協会
	個人賛助会員	184人（16人減）
	活動会員	3,038人（31人増） 新規入会：118人、退会：87人
体制	事務局体制	パートタイマー 1人減により3人体制（事務局長1人、正職員1人、契約職員1人）
	コーディネーター体制	22人体制（東京オフィス17人、関西デスク5人）を維持。交代：東京オフィス2人（6月）、関西デスク1人（12月）
基盤強化	定款変更による理事会・総会運営の柔軟化	- 理事会、総会の議長について、「会長」から「会長又は理事長」に変更し、開催日程の調整や突発的なスケジュール変更などへの対応を柔軟化。 - 理事会、総会の議事録について、東京都の定款例に従い、「署名、押印」を「記名押印又は署名」に変更し、対応を柔軟化。 - 理事会の議決について、みなし理事会（書面議決）の条項を新設し、自然災害やパンデミックなど緊急時への対応を柔軟化。
	会員管理システムの運営体制強化	保守契約を締結し、不正アクセスの危険性や兆候等についても適宜専門家がモニターする体制を整備。
	インボイス制度、電子帳簿保存法への対応	- 会計システムをインボイス制度対応のバージョンに更新の上、全支払先に支払前に登録の有無を確認して必要な対応を行う体制を整備。ABIC名での適格請求書等を作成するクラウドシステムを導入。 - 電子帳簿保存法に対応する証憑管理システムを導入。
	諸規定の整備	日本学生支援機構の依頼を受けて実施する教室等の謝礼および経費精算に関する規程を新設。
広報活動	会報『ABIC Information Letter』発行	活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）、事務局だよりなどを掲載し、会員・関係先向けに発行。（4月、7月、12月）
	『日本貿易会月報』寄稿	日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』の「ABIC PLAZA」のコーナーに活動会員やコーディネーターによる寄稿（活動レポート）を掲載。（毎月、年7回）
	ウェブサイト運営	活動概要を年次更新。（10月）
	広告	- 日経産業新聞のマンスリー編集特集「商社」にて記事広告「現役時代の経験・知見で社会貢献 ABIC」を掲載。（9月） - 国際貿易投資研究所『世界経済評論』にて日本貿易会との共同純広告「経験、知見、人的ネットワークを生かした社会貢献活動」を掲載。（毎月、年6回）

2024年度事業計画

活動分野		延べ人数 目標	事業計画（全分野共通）
政府機関関係		120	- ABIC会員を紹介・推薦し、継続的に採用されている相手先（政府機関、NGO／NPO、地方自治体・関係機関、学校・教育機関、企業・団体、等）との関係維持・強化による活動人数の維持・拡大を図る。 - ABIC会員を紹介・推薦し、採用された実績のある相手先（同）との関係再構築策、同実績のない関係先（同+α）との関係構築策を検討する（優先順位を付けて実行）。 - 活動分野別にコーディネーター会議（東阪合同）を開催し、活動人数の維持・拡大策を議論する（優先順位を付けて実行）。 - 採算意識の醸成を図る（適格インボイス制度導入によるコスト上昇回避、人材紹介・推薦手数料改定検討、会員向け講座・勉強会等の採算確保、など）。 - ABIC派遣講師（日本語講師、大学講師）間のコミュニケーション（情報共有・意見交換）を促進する。
NGO／NPO等非政府機関関係		6	
地方自治体・中小企業支援		370	
外国企業の対日ビジネス支援、研修		50	
教 育	大学・社会人講座	220	
	小中高校国際理解教育	400	
在日留学生支援・交流		680	
そ の 他	国際イベント等への協力	4	
	一般人材紹介、その他	150	
合 計		2,000	

2023年度決算および2024年度予算

（単位：千円）

科 目					2023年度決算額	2024年度予算額
I	経	常	収	益		
	(1)	受	取	会	5,910	5,845
		法	人	会	(4,770)	(4,790)
		個	人	会	(1,140)	(1,055)
	(2)	受	取	寄	0	0
		事	業	付		
	(3)	事	業	金	91,549	104,310
		日	本	収	(43,010)	(46,310)
		貿	易	益	(48,539)	(58,000)
		そ	の	他		
	(4)	雑	収	益	81	0
		経	常	収		
		益	計		97,540	110,155
II	経	常	費	用		
	(1)	事	業	費	56,528	62,775
	(2)	管	理	費	49,112	51,380
		経	常	費		
		用	計		105,640	114,155
		当	期	経		
		常	増	減	-8,100	-4,000
		外	収	益	0	0
		計				
		経	常	外	0	0
		費	用	計		
		当	期	正		
		味	財	産	-8,100	-4,000
		増	減	額		
		前	期	繰	55,560	47,460
		越	正	味		
		財	産	額	47,460	43,460

役員等

2024年6月1日現在（敬称略、社名・団体名五十音順）

会 長	安 永 竜 夫	一般社団法人日本貿易会 会長 三井物産株式会社 代表取締役会長
名 誉 会 長	國 分 文 也	前当センター会長、前一般社団法人日本貿易会会長 丸紅株式会社 取締役会長
副 会 長	石 井 敬 太 上 野 真 吾 植 村 幸 祐 貸 谷 伊知郎 柿 木 真 澄 中 西 勝 也	伊藤忠商事株式会社 代表取締役社長 社長執行役員COO 住友商事株式会社 代表取締役 社長執行役員CEO 双日株式会社 社長（6月18日付 代表取締役社長 就任予定） 豊田通商株式会社 取締役社長CEO 丸紅株式会社 代表取締役社長 三菱商事株式会社 代表取締役 社長
理 事 長 常 務 理 事 理 事	宮 本 史 昭 岩 田 淳 田 部 義 仁 加 藤 洋 佐 藤 崇 森 畑 明 猪 俣 恵 美 才 上 純 恩 田 ちさと 野 島 嘉 之	一般社団法人日本貿易会 常務理事 一般社団法人日本貿易会 常務理事付 伊藤忠商事株式会社 サステナビリティ推進部部長 住友商事株式会社 理事 サステナビリティ推進部長 双日株式会社 サステナビリティ推進部部長 豊田通商株式会社 総務部 部長 一般社団法人日本貿易会 サステナビリティグループ長 兼 広報グループ長 丸紅株式会社 グローバル総括部 副部長 三井物産株式会社 執行役員 サステナビリティ経営推進部長 三菱商事株式会社 常務執行役員 総務部長
監 事	保 田 明 子	一般社団法人日本貿易会 人事総務グループ長

（敬称略、就任順）

顧 問	池 上 久 雄 吉 田 靖 男 三 幣 利 夫 市 村 泰 男 岩 城 宏 斗司	元当センター理事長、元一般社団法人日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元一般社団法人日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元一般社団法人日本貿易会常務理事 元当センター理事長、元一般社団法人日本貿易会常務理事 前当センター理事長、前一般社団法人日本貿易会常務理事
参 与	宮 内 雄 史 野 津 浩 名 鏡 敬 治 関 伊知郎 山 口 俊 之 宮 崎 浩 志	元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 元当センター常務理事・事務局長 前当センター常務理事・事務局長

外国企業支援

FOODEX JAPAN 2024（第49回国際食品・飲料展）
スリランカ企業出展社での活動あさくら かずみ
朝倉 一美（元 三菱商事）

今回のFOODEXには、ABICから外国企業11カ国の出展社ブース通訳者として12人が活躍されたと聞く。これは、私がNDC Export社（スリランカ）の通訳業務を行った所感である。事前にご連絡いただいた同社URL（大手ココナッツ製品の製造販売会社）を参考に下準備ができたこと、また、なじみのある高分子分野の商材、さらには輸出開発関連業務ということで、自分の知見を十分に生かすことができた。

展示会全体を通じて

出展企業は世界68カ国・地域から約2,900社、主催者発表の期間中入場者総数は76,000人超という大規模なもので、中でも試食・試飲をさせる酒類や最終製品取扱業者のブースは、さながら人気フードコートのような盛況さであった。

一方、NDC Export社も含めOrganic / Wellness群にまとめられた出展社ブースは、製品コンセプトやテーマがやや漠然としているためか、来客は多いとはいえず、盛況な出展ブースとの濃淡が顕著であった。

通訳業務を通して

同社からはCEO、Managing Directorがアテンド。ただ

し、MDは横浜市内で他の業務があり2人態勢は初日のみで、残り3日間はCEO1人でのアテンドとなった。私との業務内容などの説明を含めた事前打合わせは特になかったが、開場とともに流れに任せ、訪問客対応を開始した。

期間中のブース訪問客は残念ながら多くはなく、CEOは不思議に思ったようで、初日夕刻に視察に来られた主催者側の関係者にその旨述べて、今後のために参考意見を聞いていた。私も感じていたことをCEOに助言した。日本での出展は今回が初めてであり、CEOも改善の必要性を痛感したようで、他の出展ブース巡りに毎日かなりの時間をかけていたようだった。なお、その間は私のみでの訪問客対応となってしまったが、結果報告に対しCEOからは大変感謝された。

その他

4日間にわたり朝から夕方まで同じ空間を共有できたことで、同社CEOとの人間関係構築の機会も十分得られた。自分にとってもさまざまな外国からの訪問客と会話の機会を持てたことは、非常に貴重かつ刺激のある経験であった。CEOにとっては今回の出展は他国での出展経験とは違い、満足度はあまり高くなかったようではあったが、今後の展示会に向けて参考にすべき点はしっかりと学んだようであった。

最終日の業務終了の際、私から「今回は訪問客もあまり多くはなく、会場のレイアウトも含めいろいろ不満な点もあったと思うが、初回の出展故、今回学んだことを経験に日本市場の開発にじっくり取り組み、新規ビジネスの構築にぜひともつなげてほしい」と述べたところ、CEOより「次回はサンプル展示を含め、より効果的な出展を考え積極的に市場開拓に取り組みたい。あなたの業務対応を見てこれなら安心して店番を任せられると思い、他ブースの状況調べに時間を使え大変助かった。次回出展等の機会があれば、ぜひまたお願いしたい」旨の謝意を表していた。私も大変うれしく、かつありがたかった。

末筆となったが、今回このような貴重な活動機会を与えてくれたABICに感謝したい。



出展社ブースにて（右端が筆者）

自治体・中小企業支援

中小企業の輸出拡大を強力に支援 ーグローバルに打って出る！ー

かつらぎ しんすけ
葛城 慎輔 (元 三菱商事)

私がABICの会員となったのは2020年12月であるが、大学の同級生で会社も同期の岩城宏斗司ABIC前理事長から「ABICが支援している青山学院大学の講義を担当してみないか」とABICを紹介され、応募したことがきっかけだ。

青山学院大学では「国際ビジネスと海外事情」というオムニバス形式の講義の中で、中国ビジネスについて2021年と2022年に2コマずつ講義を担当させていただいた。

約20年間の中国駐在経験はあるものの、大学で講義をする上では理路整然とした講義の流れが必要と考え、中国関連の書籍や新聞記事をにわかに読みあさり、50ページ程度のパワーポイントの講義資料を作成したことは、自分にとってもしリスキリングの良い機会となった。

2020年1月にコロナ禍の始まった中国から帰任し、中国民間企業が東京に設立した日本法人の社長として働いていたが、日本企業を買収したいという中国オーナーの希望を満たすことは難しく、仕事上の達成感を感じられない日々を過ごしていた。現在は茨城県の中小企業支援団体であるいばらき中小企業グローバル推進機構（以下、当機構）に勤務しているが、きっかけは2022年7月にABICからの会員宛てメールで当機構が専務理事を公募しているのを目にしたことであった。現職に採用された際には、ABICへの感謝のささやかな印としてABIC賛助会員となった。

当機構は、全国47都道府県に1機関ずつ中小企業庁が指定している都道府県等中小企業支援センターの一つである。茨城県は「グローバルに打って出る！」という方針の下で、県内中小企業の輸出拡大を重要課題としており、県100%出資団体である当機構は、課題解決のために具体的な施策を実行する部隊である。

支援対象を食品分野とものづくり（製造業）分野に分け、

組織再編も行っており、きめ細かい支援を実施しており、輸出展示商談会への出展によるバイヤー発掘、海外バイヤー招聘等による商談機会の創出、契約までの伴走支援を、支援の三本柱としている。

中小企業の輸出拡大を支援する上で、大きな役割を担っているのが商社OBを中心とした海外展開推進員であり、現在委嘱している6人の海外展開推進員の内の3人はABICから紹介していただいた。商社時代の海外駐在経験や各産業分野での人脈を十二分に生かして中小企業を支援していただいており、非常に大きな戦力になっていただいていることから、今後も継続してABIC会員の方に当機構の海外展開推進員としてご活躍いただけることを切に願っている。

中小企業の輸出拡大のための2024年度の目玉施策は、ドイツとタイで開催される機械関係の国際展示商談会に、それぞれ10社ずつの「初めて海外にチャレンジする中小企業」に参加してもらい、グローバルビジネスにチャレンジしてもらうことだ。単独では海外にデビューすることに二の足を踏む中小企業が多いが、当機構が茨城県ブースを設置して10社が共同出展し、海外展開推進員と当機構職員が同行支援し通訳も手配することから、初チャレンジする中小企業にとっても安心して参加できる環境を整えることができると考えている。

日本の人口減少は今後も避けられないと予想されており、日本のマーケットが縮小を余儀なくされる中で、中小企業の海外マーケットへの進出は生き残りのための有効な解決策の一つであるという信念の下、中小企業の置かれている経営環境に十分に配慮しながら、「当機構の支援による県内企業の輸出総額を毎年倍増させる！」という目標の達成に向けてまい進していきたい。



地元常磐大学での「中小企業経営論」講義風景
(2024年1月)



台湾で開催された国際展示会での茨城県ブース
(2023年10月、左端が筆者)

留学生支援

留学生支援バザー

留学生支援グループコーディネーター **たけはら まさかず** **竹原 正和** (元 伊藤忠商事)

東京国際交流館

5月11日(土)、12日(日)の両日、恒例の春の新入館生歓迎バザーが東京国際交流館で開催された。売り上げは約105千円となり、ABIC事務費用を差し引きバザーの運営を担うRA^(※)に留学生サポート活動資金として提供させていただいた。これは102箱もの品物をご寄贈いただいたABIC会員や日本貿易会会員各社のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

初日の土曜日は五月晴れともいえる快晴。ただお台場特有の風があまりにも強く、外に陳列した品物が周囲に飛び交い、RAたちは準備に苦労していた。それでも晴天の故か、来場者はお子さんたちも含め結構多く、生活雑貨、衣類、学用品などを中心に販売が伸びていった。

2日目の日曜日の来場者数は全体的に減少したが、来場は途切れずに続いた。RAのアイデアで、14時ごろに館内放送で「16時終了」を告げると入館者がどっと押し寄せ、RAが安価販売に切り替えたこともあり、かなりの数量がはけていった。

両日とも日本語広場の講師(計3人)にご協力いただき、日本語広場、日本文化教室の宣伝チラシを来場者に配布し積極的に勧誘していただいた。RAにも協力してもらい、会計の際にもチラシを配布した。

RAは6-7人ほど常駐しており、役割が明確でチームワークも良く、統制がとれていた。秋にも同様のバザーがあるので一致協力していきたい。

関西デスクコーディネーター **かしむら かおる** **鹿志村 馨** (元 住金物産)

兵庫国際交流会館

5月10日(金)の新入館生歓迎会に続き、5月12日(日)に恒例の新入館生歓迎バザーが開催された。今回で16回目になるが、新入館生約20人をはじめ、既入館者を加え約50人が来場した。今回もABIC会員や日本貿易会会員各社から72箱もの広範囲な品物をご寄贈いただき、売り上げは約3万円となった。この売上金は、ABIC事務費用を差し引きバザーの運営を担うRAに留学生サポート活動資金として提供させていただいた。ご支援くださった皆さまに厚く感謝申し上げます。

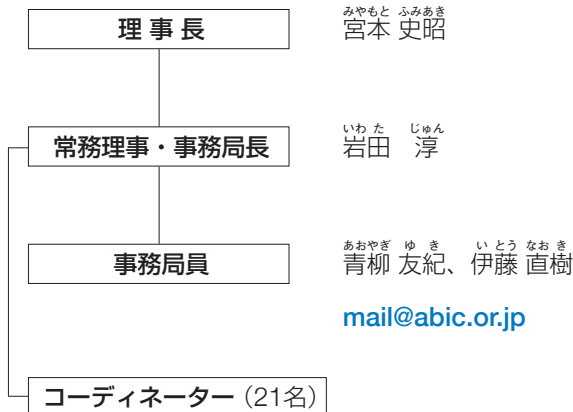
学生の一部には連休で多忙な日々だったため疲れて休んでいたとか、日曜礼拝があったなどの理由でバザーに参加できなかったとも聞いているが、それでも、アフリカからの学生の数人は、衣類以外にも玩具や各種雑貨など広範な品物をまとめ買いし、売り上げに多大な貢献をしてくれた。9月に帰国し家族に持ち帰るとのことで、大変感謝していた。今回の特徴として、夏物衣類はもとより、食器類、

バッグ類、ホットプレートなど電化製品が多く出品された。特に生活必需品は来日間もない学生に非常に好評だった。4月に入館した学生は中国、台湾、ベトナム、カンボジア、フィリピンなどアジア系の学生が多いが、2023年秋に入館したアフリカ・中東からの学生も熱心に物色していた。



(※) RA (Resident Assistant) : 交流館に居住し、同館に入居する外国人留学生などの日常生活や勉学上のサポートなどを行う日本人大学院生。

ABIC事務局組織 (2024年7月1日より) 〈氏名五十音順〉



- 総務・経理 めいきょう けい い し
名鏡 敬治
- 自治体・中小企業支援グループ かんばやし こうへい しらいし いちろう の づ ひろし まつもと たかし
閑林 亨平、白石 一郎、野津 浩、松本 匡
smesupp@abic.or.jp
- 外国企業支援グループ にしやま かつあき
西山 勝昭
support@abic.or.jp
- 大学等講座グループ たきもと ただし つる み くにお とりやま しげとお ますい てつじ
瀧本 忠、鶴見 邦夫、鳥山 重遠、増井 哲治
univ@abic.or.jp
- 小中高校国際理解教育グループ さかもと ひで き すがのう みやうち ゆう じ
坂本 英樹、菅納 ひろむ、宮内 雄史
krikai@abic.or.jp
- 留学生支援グループ たけはら まさかず みや こ かず こ やま だ たかし
竹原 正和、宮子 和子、山田 隆
abicodaiba@abic.or.jp
- 新規案件・特命担当 せき い ちろう
関 伊知郎
mail@abic.or.jp
- 関西デスク い かわ てつひろ いたくら なお と か し むら かおる よしとみ しげたか
井川 哲宏、板倉 直人、鹿志村 馨、吉富 茂隆
kansai-desk@abic.or.jp

e-mailアドレス・住所等の変更届けはお忘れなく！

e-mail アドレス・住所などの変更がありましたらご連絡ください。
転居先不明で返送される例が増えています。

e-mail: mail@abic.or.jp FAX: 03-6268-8652

新入正会員のお知らせ

法人正会員 2024年3月入会 三洋貿易株式会社

個人正会員 2024年6月入会 國分文也氏 丸紅株式会社 取締役会長

会員の種類

種類	内容	年会費
正 会 員	センターの目的に賛同し、活動を推進し、会費を納める個人、法人および団体。（理事会の承認を得て入会）	法人および団体 1 口 50,000円
		個人 1 口 10,000円
賛助会員	センターの目的に賛同し、会費を納める個人、法人および団体。	法人および団体 1 口 10,000円
		個人 1 口 5,000円
活動会員	センターの目的に賛同し、事業に参加しようとする個人。	なし

(2024年6月1日現在)

正 会 員

法人・団体（17社、1団体）〈社名・団体名五十音順〉

- 〈10口〉伊藤忠商事(株) 住友商事(株) 双日(株) 豊田通商(株) (一社)日本貿易会 丸紅(株) 三井物産(株) 三菱商事(株)
- 〈2口〉 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) 長瀬産業(株) 日鉄物産(株) 阪和興業(株)
- 〈1口〉 兼松(株) 興和(株) 三洋貿易(株) JFE商事(株) 蝶理(株)

個人（12名）〈敬称略、氏名五十音順〉

- 〈3口〉 中村邦晴
- 〈1口〉 池上久雄 市村泰男 岩城宏斗司 岡 素之 國分文也 小林栄三 小林 健
- 佐々木幹夫 寺島実郎 宮原賢次 吉田靖男

賛 助 会 員

法人・団体（3社、1団体）〈社名・団体名五十音順〉

- 〈2口〉（公社）東京のあすを創る協会
- 〈1口〉 (有)イーコマース研究所 (株)エックス・エヌ 三谷ビジネスパートナーズ(株)

個人（174名）〈敬称略、氏名五十音順〉 * 2024年3月以降にご入会いただいた方

- 〈5口〉 廣瀬一郎 〈2口〉 井川哲宏 遠藤寿一 小川秀洋 川島一郎 川俣二郎 公平伸夫 笹倉優 三幣利夫
- 白石一郎 新藤哲雄 関伊知郎 田中武夫 内藤幹 野津浩 坂東寛隆 藤井眞 前田耿史 松尾謙二 宮内雄史
- 名鏡敬治 山田芳正 山本一良 〈1口〉 朝倉一美 東光子 安達公一 安達晋 安齋正行 猪狩眞弓 生島幸哉

(賛助会員続き)

石橋満 板倉直人 伊藤政志郎 伊東良平 稲田寛 今井明良 植木正憲 上野和郎 漆崎隆司 江川典一
 榎本啓一郎 江幡吉信 遠藤研二 遠藤眞喜子 大久保浩司 大浩義之 太田光雄 大西稔男 岡本徹 小畑克之
 織辺重之 角井信行 鹿志村馨 葛城慎輔 紙屋司 河崎隆夫 閑林亨平 岸達也 吉川和夫 久木田修司
 櫛田光彦 葛目薫 工藤章 久保山毅 九門康之 倉地弘之 黒岩浩一 黒岡誠一 鋤形勲 小西悟 坂上恵一
 坂本英樹 笹岡太一 笹岡治男 城田比佐子 菅納ひろむ 杉浦康之 杉下由紀子 鈴木紘司 鈴木昌宏 関晃典
 関口幸男 高嶋宏臣 鷹津俊一 高塚謙次 高柳昌之 瀧本忠 竹下浩 武田勝年 竹田真奈美 竹原正和
 田島基二 橘弘志 田中昭彦 田中剛 玉木興畠 柘植要介 辻萬亀雄 土屋英五 津守克平 鶴見邦夫 都丸啓吉
 富永宏志 友永隆浩 鳥山重遠 中久喜唯男 永島謙介 中園智子 仲田慎太郎 永田明司 中高英明 永峰千年
 鍋島英幸 西以久夫 西川裕治 西澤俊一 西村信泰 西山勝昭 橋本政彦 橋本勝 長谷川大幾 畑宏幸
 羽生憲夫 早川俊一郎 葉利博 坂野正典 疋田和三 菱川治 日野武彦 福田毅 福永信一 藤井重隆 藤田卓
 *藤巻宏敏 藤村登 藤原照明 布施克彦 舟橋金之介 船見義克 堀江博 前田直明 増井哲治 増本光男
 松下敏明 *松本匡 松山久 三浦純一 三神博美 味田村正行 三栗敏 宮内正敬 宮子子和子 宮本正明 森岳三
 森和重 森川建夫 森松直毅 矢尾板健二 山岸正雄 山口信行 山崎義則 山田隆 山中健司 山根昭郎 山根学
 山邑陽一 山本秀一 山本博勝 山脇隆司 横井正豊 横山泰雄 吉田房子 吉富茂隆 李明浩

活 動 会 員 3,034名

賛助会員入会のお願い

ABICの活動にご賛同いただき、資金的な援助をしていただける活動会員およびその他の個人の方、
 ならびに法人および団体の皆さまのご入会をお願い申し上げます。

会員入会のお問い合わせ・連絡先

特定非営利活動法人 国際社会貢献センター (ABIC)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館20階

TEL : 03-6268-8604 FAX : 03-6268-8652 E-mail : mail@abic.or.jp